

各学校で取り組む働き方改革の内容と方法についての報告書

令和8年 3 月

学校名【 大月東中 】

2-(1)時間外在校時間に関する目標についての本校の取り組み内容と方法

- ・校務支援システムによる出退勤時間の把握
- ・日課時程の見直し
- ・施設安全点検回数の見直し
- ・「大月市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」内容を全職員で確認し、すぐにできる業務量の軽減策を検討

2-(2)子供と向き合う時間の確保に関する目標についての本校の取り組み内容と方法

- ・創造的余白の取組として、職場の「働きやすさ」と「働きがい」をできるだけ担保するために、毎週月曜日に「きずなの日」を設定し、原則、部活動や諸会議を行わないこととして、生徒との時間や教材研究の時間に充てる。
- ・事務処理日等の定時退校日を設ける。

2-(3)ワーク・ライフ・バランスや働きがい等に関する目標についての本校の取り組み内容と方法

- ・職場の「働きやすさ」と「働きがい」の意識を把握するために、教職員へアンケートの実施
- ・教職員にストレスチェックを実施し、セルフケア意識の向上を図った。
- ・部活動を土日はどちらか1日、平日は月曜日に休養日を設けている。

4 -(1)「業務の3分類」を踏まえた業務の見直しに係る本校の取り組み内容と方法

- ・部活動外部指導員の配置（バレーボール部、バスケットボール部）
- ・学生チューターの活用（陸上部）

- ・毎週月曜日2校時に実施している「生徒指導委員会」にSCを同席させ、生徒理解・支援の連携を図っている。
- ・教育支援室職員のアウトリーチにより、不登校生徒の学習支援を実施
- ・コロナ禍以降、12月に実施してきた「校内音楽発表会」を9月実施の創美祭に統合して、行事の精選を図った。
- ・保護者への支援が必要な場合には、SSWの来校を積極的に依頼し学校と連携して対応している。
- ・大月東中学校区の事務職員による、学校事務処理・確認等の連携がなされている。
- ・これまで1年生で実施してきた、家庭訪問を廃止し2，3年生と同様に三者懇談とした。

4-(2)学校における措置の推進に係る本校の取り組み内容と方法

- ・校務DXの推進（保護者・教職員への連絡連絡事項の電子化・職員会議資料のデータ化）
- ・Teamsやformsの効果的な活用（週予定の生徒への配信、生徒会活動等の連絡・アンケート等）により、校務DXチェックリスト⑨⑩⑪以外の実施。